

会議録

令和5年7月21日

件名	令和5年度第1回鹿児島市食育推進委員会	作成課	保健政策課
日時	令和5年7月18日(火) 14時00分～14時50分		
場所	市役所 東部保健センター講堂		
出席者	公募委員3名、学識経験者1名、消費者団体等1名、教育福祉関係者3名、保健医療関係者3名、農林水産業関係者1名、食品関係者2名 計14名(欠席3名)		
市出席者	事務局：保健政策課長、健康づくり係長、係員		
会次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事 議題</p> <p>(1) 食育に関する事業実施状況及び実施計画</p> <p>(2) 第8回かごしま食育フェスタ実施計画</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>		
主な意見等	<p>議題</p> <p>(1) 食育に関する事業実施状況及び実施計画</p> <p>(委員)「食育フェスタ開催事業」で、日程が変更になった理由は。</p> <p>(事務局)会場の空き状況を踏まえ、日程を決定しているため。</p> <p>(委員)旧5町では、学校給食がアルミ皿で提供されている。(市外や他市町村では、陶器やプラスチック皿で提供されているところもある。)また、おはしは家庭での準備となっているが、食器同様学校側で準備することを検討していただきたい。</p> <p>(委員)旧5町では、家庭との連携という観点から、おはしを家庭にて準備することとなっている。学校側で準備することに関しては、教育委員会に相談をすることになると考える。</p> <p>(事務局)意見については、教育委員会に情報提供を行う。</p> <p>(委員)「農林水産まつり」が、令和4年度より年2回から年1回に変更になった理由は。食育と地産地消はつながりが深く、イベント等を通して周知していくことは大事だと思う。</p> <p>(事務局)理由については担当課へ確認を行う。また、食育推進と連携して進めてほしいという意見に関しては、担当課へ伝える。</p> <p>(委員)市民からのニーズがあると思うので、ぜひ検討してほしい。</p> <p>【担当課へ聞き取り】</p> <p>人件費・設営費の高騰により回数減。開催内容は統合し、1回実施。</p> <p>(委員)鹿児島は魚の鮮度が良く、おいしいのにも関わらず、子ども達が魚を食べない原因があれば教えて欲しい。</p> <p>(委員)鹿児島はその日に獲れたものをその日のうちに食べる習慣があるため、鮮度が高い。子ども達に食べてもらえるよう、お寿司などの魚に関する出前事業や魚を捌ける大人を増やす取り組みを実施しているところである。</p>		

(委員) 食育に関する事業をまとめるにあたり、事業実績(日程や参加人数等)や成果が分かるような資料を作成してほしい。

また、公民館講座が多数あるが、公民館が主体で行っているのか。

(事務局) ご意見を反映できるような資料作りに努める。

公民館講座は、公民館が主体で行っている。

(委員) 公民館講座の実績や実施計画を市は把握しているのか。

(事務局) 実績は、日誌等にてまとめられている。

また、実施計画は協議会ごとにまとめられたものが市に提出されている。

(委員) 「地域の魅力・活力共創事業」とは、どのようなものか。

(事務局) 市内高校と担当課が連携し、旧5町の食材を使ったレシピを考案し、市民のひろば等で広報を行う。

(委員) 「食育推進事業」の高校3年生向けのリーフレットとはどのようなものか。

(事務局) 新生活に向けて、気をつけてほしいことをまとめたものを記載しており、年末までに配布を行う予定としている。

(委員) 高校3年生だけでなく、幅広く配布することも検討してほしい。

(委員) 受験の忙しい時期を外して配布してはどうか。

(事務局) 進学や就職前の高校3年生に配布する。年末までに各学校に送付し、配布時期については各学校の判断で配布できるよう連携していく。

(委員) 「食生活改善推進事業」で、食生活改善推進員は、食生活が乱れやすい大学生へのアプローチをしているのか。

(事務局) 市の事業(健康まつりや料理教室)を通して一部関わりがあるが、大学生への積極的アプローチは現在行っていない。

(4) 第8回かごしま食育フェスタ実施計画

(委員) 広報はどのような方法で行っているのか。

(事務局) ちらしの配布や市民のひろば、電車の広告等を活用して、広報を行っている。また、市政記者へ情報提供を行っている。

(委員) 会場は、アミュ広場のみで通路は含まないのか。

(事務局) 今回はアミュ広場のみで行う予定である。

(委員) 各ブースは2M×2Mなのか。

(事務局) 各団体の出展内容や物品を考慮し、スペースを決めている。

(委員) 第7回の来場者数は。

(事務局) 約1,000人

(委員) 市民に広く広報するにあたり、マスメディアやSNSを活用して、来場できない(来場できなかった)人にもアプローチする方法を今後検討していった方がよいのではないか。

(事務局) 事前告知に加え、ホームページ等を通して事後周知も継続して行いたい。

(委員) イベント内のブースにストーリー性を持たせるなど工夫をしてはどうか。

(事務局) 関係課・関係団体と連携し、来年度以降の内容等を検討していきたいと思う。